

## 株主の皆様へ

### 第91期 上半期報告書

2015年4月1日  2015年9月30日

#### ご挨拶

株主の皆様には、日頃から格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。第91期上半期(2015年4月1日から2015年9月30日まで)が終了しましたので、ご報告申し上げます。

当上半期の経済環境は、海外の景気減速による輸出の伸び悩みや個人消費等の一部に弱さが見られるものの、円安や原油価格の下落を背景に企業業績は堅調に推移する等、緩やかな回復基調の中で推移しました。一方、中国の景気減速や資源価格の下落に伴う新興国経済の低迷等による世界経済の下振れリスクが懸念され、先行き不透明な状況が続いています。

このような環境の下、三井金属グループの上半期の業績は、円安効果や北米市場において自動車用機能部品の需要が堅調に推移したこと等による影響があったものの、非鉄金属価格の下落に伴う在庫要因等があり、前年同期比で増収減益となりました。

本年は、3か年の中期経営計画である「13中計」の最終年度にあたります。10月に、足もとの金属価格の動向等を勘案し、通期業績予想を下方修正しましたが、最後まで全社を挙げて収益確保に取り組み、次期中計を万全の態勢で迎えたいと考えています。

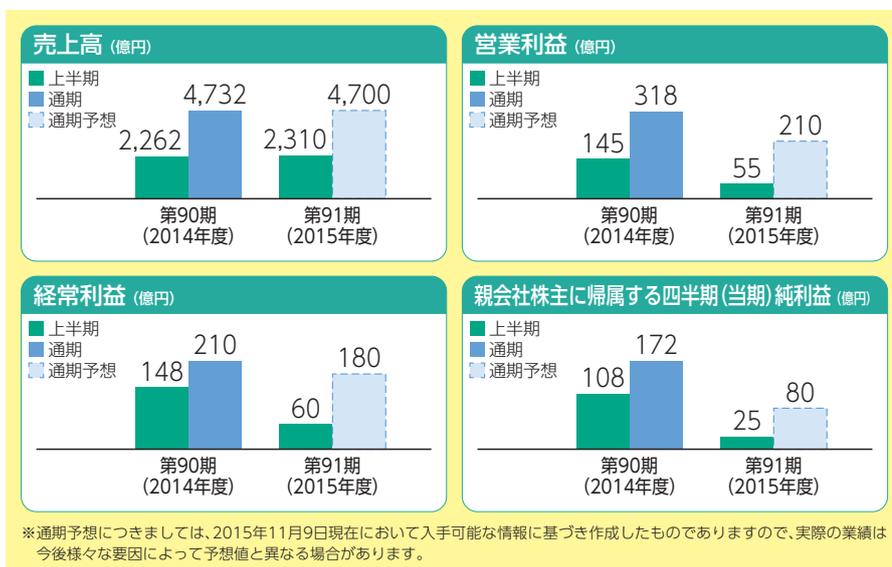
株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、中間配当につきましては、財務体質の改善を優先し、見送りとさせていただきます。ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。



代表取締役社長

仙田 眞雄



#### CONTENTS

- ご挨拶
- 第91期上半期レビュー データ編
- 第91期上半期レビュー ニュース編
- 事業本部長インタビュー  
金属事業本部長 蓮尾 充彦
- CLOSE UP  
神岡鉱山地下1,000メートルの  
巨大地下空間  
～スーパーカミオカンデに活かされた当社の鉱山技術～

## 決算のポイント

POINT  
1

円安効果や北米市場における自動車用機能部品の販売が堅調であったこと等により、売上高は前年同期比48億円（2.2%）の増収。

POINT  
2

損益面では、非鉄金属価格の下落に伴う在庫要因等により、営業利益は前年同期比90億円（62.1%）の減益。経常利益は前年同期比87億円（59.2%）の減益。さらに特別損益、税金費用等を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比82億円（76.0%）の減益。

POINT  
3

通期では、当上半期決算と足もとの状況を勘案し、売上高は4,700億円、営業利益は210億円、経常利益は180億円、親会社株主に帰属する当期純利益は80億円の見込み。

売上高

2,310 億円  
(前年同期比 2.2% 増)

営業利益

55 億円  
(前年同期比 62.1% 減)

経常利益

60 億円  
(前年同期比 59.2% 減)

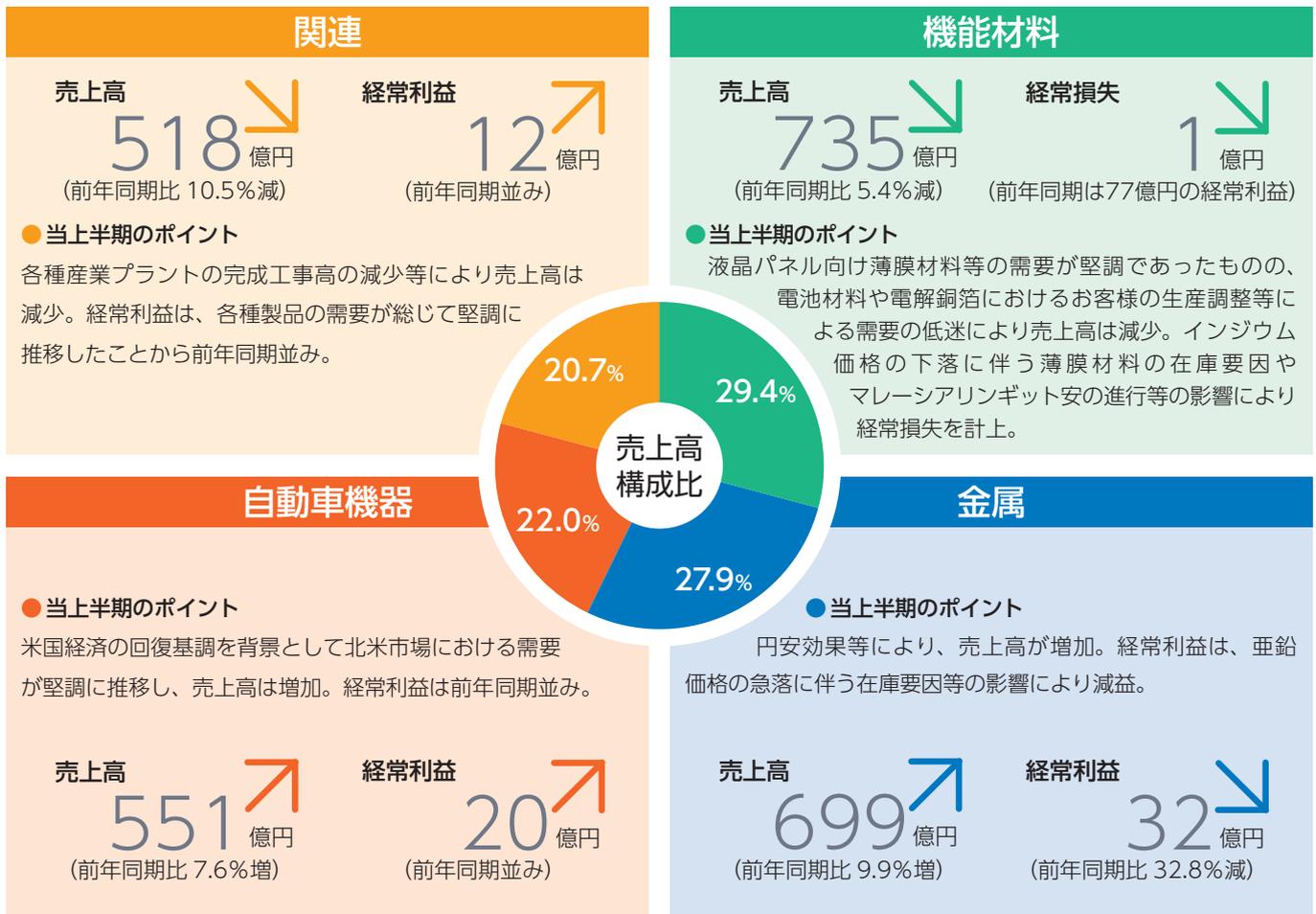
親会社株主に帰属する四半期純利益

25 億円  
(前年同期比 76.0% 減)

※「企業結合に関する会計基準」等の適用に伴い、従来の「四半期(当期)純利益」は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」に表示を変更しています。

※通期見込みにつきましては、2015年11月9日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## セグメント別業績の概況



※各セグメントの売上高および経常損益はセグメント間の内部売上高または振替高を含んでいます。

6月 **スーパーハイビジョン用テレビカメラ向けフッ化カルシウム単結晶を開発**

当社の100%子会社である日本結晶光学株式会社は、スーパーハイビジョン（8K）用テレビカメラレンズの材料であるフッ化カルシウム単結晶を開発し、サンプル出荷を開始しました。現在普及しているハイビジョンの約16倍、3,300万画素もの超高精細映像を映すスーパーハイビジョン用テレビカメラレンズには、レンズ歪値の大幅な低減が必要となり、それを実現するフッ化カルシウム単結晶の安定かつ効率的な量産は難しいとされてきました。同社は、従来から培ってきた技術を用いて、歪値を大幅に低減させたフッ化カルシウム単結晶の開発に成功し、すでに品質のバラツキを抑えた量産化技術も確立しています。今後も様々な用途に対応しつつ、高品質なフッ化カルシウム単結晶の安定供給を進めていきます。



フッ化カルシウム単結晶

6月 **第90期定時株主総会を開催  
剰余金処分を可決、  
取締役・監査役を選任**

6月26日午前10時より、ゲートシティホール（ゲートシティ大崎ウエストタワー地下1階）

にて第90期定時株主総会を開催しました。6円の配当金も含め、すべての会社提案議案が承認可決され、取締役9名および監査役2名が選任されました。新たに選任された取締役・監査役は左記のとおりです。

●新任役員のご紹介



取締役  
のうたけし 武士  
取締役 兼 常務執行役員  
機能材料事業本部長  
機能材料事業本部企画部長



監査役  
かどわき 門脇 隆

7月 **米国製造・販売子会社にて  
四輪車向け排ガス浄化触媒の  
量産開始**

2013年7月に米国に設立した自動車触媒の製造・販売を行う「Mitsui Kinzoku Catalysis America Inc.」は、日系自動車メーカー向け2016年モデルの四輪車向け排ガス浄化触媒の量産を開始しました。北米における自動車の需要は堅調であり、現地での技術ニーズが高まっています。これに対応

するために、インドやタイをはじめとする新興国に加え米国内においても事業展開を進め、ビジネスのさらなる拡大を図ります。

9月 **台湾のリサイクル企業と資本業務提携  
アジアにおけるリサイクル事業を拡大**

当社は、台湾、中国において電気電子機器廃棄物および銅・貴金属のリサイクル事業を展開している金益鼎企業股份有限公司（以下「金益鼎」と）資本業務提携契約を締結し、金益鼎の第三者割当増資を引き受け、同社株式の19・84%を取得することで合意しました。

今回の資本業務提携は、特に成長市場であるアジアのリサイクルビジネスを拡大させることが主な狙いとなっており、両社のビジネスネットワークを活用した原料集荷力等の強化やリサイクル技術および能力の強化でシナジー効果を発揮していきます。

今後のIRスケジュール

2016

2月 上旬 2016年3月期  
第3四半期決算発表

3月 31日 決算日・基準日

5月 上旬 2016年3月期 決算発表

6月 上旬 第91期定時株主総会  
招集ご通知発送

6月 下旬 第91期定時株主総会開催

## 三井金属グループの金属製錬ネットワークを強みに リサイクル製錬の体制を強化



代表取締役副社長 兼 副社長執行役員  
金属事業本部長

蓮尾 充彦 (はすお みつひこ)

シフトを進めています。溶鉱炉方式、電解方式と様々な金属製錬の設備を有する三井金属グループは、事業所社が単独でリサイクルするのではなく、リサイクルの過程で発生する中間物を事業所社間で互いにやり取りして、グループ全体でリサイクルする製錬ネットワークを形成しています。このネットワークでは、リサイクル原料から亜鉛・鉛・金・銀・ビスマス・錫などを回収し、最終生成物であるスラグ<sup>①</sup>まで一貫してグループ内で完結することができ、リサイクル原料の種類によって受け入れる製錬所を選択できるという強みがあります。この強みをさらに強化するために、13中計では多種多様なリサイクル原料への技術対応力を磨くという体質改善に力を入れてきました。この体質改善によって、ビスマス・錫などの副産物の回収量増加という効果が現れてきています。

また、最近では他社とも副産物をやり取りしてリサイクルする社外ネットワークも形成しつつあり、計画以上の成果をあげられたと考えています。今後は、各製錬の前処理工程、後処理工程の能力をさらに強化することによって、鉱石、難処理鉱石<sup>②</sup>、リサイクル原料といった原料調達をより高め、コスト競争力を強化し、利益に貢献していきます。

### Q1 金属事業本部の事業内容をご紹介ください。

亜鉛、鉛、銅を中心とした金属製錬とその原料となる金属資源開発を手がけており、三井組による神岡鉱山の経営開始を原点とする当社の源流に当たる事業で、金属事業部、資源事業部、銅事業統括部の3事業部で構成されています。

国内では、八戸（青森県）、神岡（岐阜県）、竹原（広島県）、彦島（山口県）、三池（福岡県）、串木野（鹿児島県）において、それぞれの特徴を有した金属製錬を行っています。

一方、海外では、世界有数の資源国である南米ペルー国で探査、採掘、選鉱を行っており、40年以上もの操業実績があるワンサラ鉱山等から主に亜鉛、鉛、銅の鉱石を調達しています。

また、銅に関しては、J-X日鉱日石金属株式会社との共同出資会社であるパンパシフィック・カッパー株式会社（当社出資比率32.25%※）において、チリのカセロネス銅鉱山から銅鉱石を調達しています。

※2015年9月30日現在

一方、海外においては、電気電子機器廃棄物から銅・貴金属リサイクルを行っている上海三井鑫云貴稀金属循環利用有限公司（当社80%出資子会社）ほか、本年9月には、台湾、中国において電気電子機器廃棄物および銅・貴金属のリサイクルを手がける金益鼎企業股份有限公司との資本業務提携を足がかりに、積極的に海外リサイクル事業を拡大していきます。

資本業務提携の詳細については、ニュース編でご紹介しております。

### Q3 今後の金属、資源事業の展望についてお聞かせください。

金属、資源事業は、様々な事業を展開している当社の原点ともいえる事業であると自負しており、これからも発展、成長し続けなければなりません。自ら会社に寄与していくのももちろんですが、他事業も支えていくという使命があると認識しています。例えば、機能材料事業ほかで販売した使用済み製品をリサイクルする、回収した副産物を他の製品材料へリサイクルする等、事業の枠を越えて総合的なネットワークを形成することで各事業の強みを活かせるのではないかと考えています。金属、

### Q2 13中計において特に注力する事業として、資源、リサイクルが挙げられています。それぞれについて、取り組み内容と成果をお聞かせください。

まず、13中計の柱のひとつであるカセロネス銅鉱山について説明します。操業スケジュールは約1年遅れてしまいましたが、本年9月末にようやくフル稼働に手が届く状況に至りました。銅価格は、計画より2,000〜3,000ドル/トンほど下落し、足もとも厳しい状況が続いていますが、金属は限りある資源であるため将来的に価格は上昇していくと見込んでいます。パンパシフィック・カッパー株式会社を中心とし、鉱山の寿命といわれる約30年間を通してカセロネス銅鉱山を運営していくこととなります。まずは技術的な改善を実施し、早期に安定的フル稼働の状態を維持できるようにしていきます。さらにペルー国アタラヤ地区では亜鉛の探鉱も進めており、実現可能性、経済性を見極めていきます。

次に、リサイクルですが、鉱石を主体とする製錬を中核に置きつつ、酸化亜鉛原料をはじめとした様々なリサイクル原料の比率をさらに高めていくことに軸足を置いた「リサイクル製錬」への

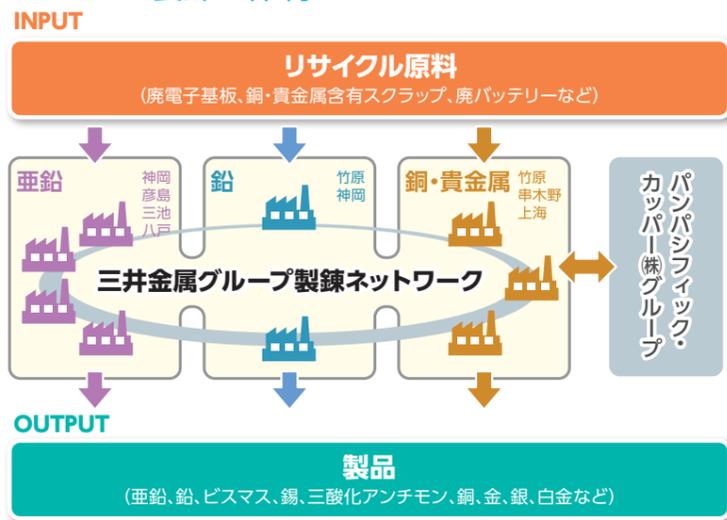
資源事業は、金属および為替相場の影響を受けやすい事業ではありますが、株主の皆様には、長期的な視点で、複合的に生み出される価値にご期待いただきたいと思います。

#### 用語解説

**スラグ**  
金属製錬の際、溶融によって分離した岩石成分などを含む物質で、道路の路盤材、セメントの原料などに使用される。

**難処理鉱石**  
不純物が非常に多い鉱石。不純物を除去する技術力、除去した不純物の適切な処理が求められる。

#### リサイクル製錬の体制



祝 梶田隆章教授 ノーベル物理学賞受賞

# 神岡鉱山地下1,000メートルの 巨大地下空間

## 「スーパーカミオカンデ」に活かされた当社の鉱山技術

2002年にノーベル物理学賞を受賞された小柴昌俊教授（東京大学特別栄誉教授）の「カミオカンデ」に続き、梶田隆章教授（東京大学宇宙線研究所所長）の「スーパーカミオカンデ」の実験にも、当社の鉱山技術である岩盤エンジニアリングが貢献しました。

宇宙から飛来するニュートリノの観測装置（スーパーカミオカンデ）は、直径39・3メートル、高さ41・1メートルの円筒形、タンク内側には光電子増倍管が1万本以上設置されています。神岡鉱業株式会社をはじめめとする三井金属グループでは、この装置を設置する巨大空間を、神岡鉱山（岐阜県飛騨市）の地下1,000メートルに築きました。そもそも神岡鉱山は、飛騨片麻岩という硬い岩盤の地質構造のため、地下空間は、安定しており、外部環境に影響されず、遮蔽性・防音性にも優れ、地震にも強い。こうした特性から研究分野に活用されています。

当社の岩盤エンジニアリングは、無駄のない効率的な岩盤掘削において、いかなる土木掘削企業であろうとも追従を許しません。1,000年以上にわたって培ってきた鉱山技術と神岡鉱山を知り尽くした知恵を用いて、この巨大な地下空間を長く維持管理がしやすいように設計。高い安全性と短期間、低コストの工事をも可能にした掘削技術や岩盤を支える技術は、地下構造を知り尽くしているからこそできた技。世界に誇る最先端の研究が、常に安全でベストな環境で行えるよう、現在も三井金属グループにおいて地下空間周辺の岩盤状況を監視し続けています。

今回の梶田教授のノーベル物理学賞の受賞を契機に、次世代超大型ニュートリノ観測装置である「ハイパーカミオカンデ」の建設が一日も早く実現することを、心より祈念しております。



スーパーカミオカンデのための  
巨大地下空間建設風景

### 株主メモ

定時株主総会の議決権の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
定時株主総会	6月下旬

### 株主名簿管理人・特別口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

### 同連絡先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎0120-782-031

### 公告の方法

電子公告とする。

(<http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>)

ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行う。

### 〈株式事務のお取扱い〉

1. 未払配当金の支払いのお申出先  
左記三井住友信託銀行にお申し出ください。
2. 住所変更、単元未満株式買取等のお申出先
  - ①証券会社の口座へ株式をお預けになられている株主様は、お取引のある証券会社にお申し出ください。
  - ②証券会社の口座へ株式をお預けになられていない(特別口座に記録されている)株主様は、左記三井住友信託銀行にお申し出ください。

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報など当社をご理解いただくための様々な情報を提供しております。



<http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>

## 三井金属鉱業株式会社

〒141-8584 東京都品川区大崎一丁目11番1号  
TEL:03-5437-8240

総務部



環境に配慮した FSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。